



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

YOU ARE THE KEY あなたが鍵です

1985～'86 R.I 会長 エドワード F カドマン

上田会長 クラブターゲット 仲よく 話ろう ロータリー

第354回 例会 60年7月18日 第360号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
56名	45名	81.82%	100%

欠席者

布施、二見、橋本、細野、神作、古田土、中西
岡本、鈴木、種ヶ島

本日のプログラム 7月28日

第1回家族会 於 中川温泉 信玄館

次週予定 8月1日

クラブフォーラム「クラブ奉仕について」

司会 SAA 伊藤英夫君

ソングリーダー 北砂富三君「奉仕の理想」

〈ゲスト〉

永野清治氏 (車体工業(株)相談役・大和RC初代会長)

〈ビジター〉

菅沼辰雄君、中山義之君 (横浜南)

小菅 徹君 (藤沢北西) 齊藤隆寿君 (座間)

町田 実君、野口栄三郎 (大和)

関沢忠雄君、仁藤文次郎君、古木明夫君 (大和田園)

〈会長報告〉

○本日は地区大会のキャンペーンのためにお忙しい中をわざわざ地区大会のコ・ホストクラブであります横浜南クラブの中山さんと菅沼さんがお見えになっておられます。どうぞ宜しくお願い

いたします。

中山君・菅沼君：本日は9月28・29日の両日に亘り神奈川県民ホールで開催されます地区大会のご案内に参りました。本年度の大会プログラムは各部門別の協議会とアジア諸国より日本留学生の学生諸君によるシンポジウムと記念講演には三浦朱門文化庁々官をお迎えしてお話をいただくことになっております。その他会員御家族にお楽しみいただきますプログラムとしまして豪華遊覧船マリージャトルによる横浜港一周のエクスカーションも用意してございます。

ホストクラブは横浜中クラブでございますが私共横浜南クラブはコ・ホストクラブとして協力しております。両クラブともこの様な事大変不慣れでございますし、経験も浅いものですか

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中央1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：上田 利久
会長イレク：藤田 重成
副会長：富沢 重徳
幹事：近藤 富士男
会報委員：松崎・種ヶ島・木村

ら、諸先輩クラブの皆様の暖い御支援を賜りながら鋭意準備致しております。登録料は会員6000円御家族は無料です。どうか御家族お揃いで多数ご参加下さいませようお待ち申し上げます。どうもありがとうございました。

- 地区大会と申しますのは出席してみないとロータリーの組織の偉大さが解りません。特にフレッシュマンの方是非ご出席下さい。
- 先日の理事役員会に於きまして、クラブ細則の確認、取引金融機関の確認、年度予算の承認等を行ないました事をご報告申し上げます。
- 悲しいお知らせですが、先般座間ロータリークラブの片野会長のお父様をご逝去なされましたのでクラブより花環と香典を添えて焼香して参りました。

〈幹事報告〉

- 次回25日の例会は親睦活動委員会よりご案内の通り第一回家族会が28日(日)に行なわれますので振替となります。どうぞお間違いなきようお願い致します。
- 先日お配り致しましたクラブ活動計画書の最後の頁の電話連絡網にミスプリントがありましたのでご訂正をお願いします。

上田 (74) 0240 は 6240

古田土 (61) 5589 は (76) 5582

- ロータリーの友事務局より「ロータリー日本60年史」購入依頼がきております。回覧しますのでは是非購入方お願い致します。
- 前期会費(7~12月分)の納入を速やかにお願い致します。

〈委員会報告〉

ゴルフ同好会 委員長 松本三郎君

8月27日(火)に毎年行なっておりますボーイスカウトチャリティーゴルフ会が厚木国際で行なわれます。是非多数のご参加をお願い致します。

会費は10,000円です。

親睦活動委員会 委員長 上村幹雄君

来る28日(日)に開催されます中川温泉での家族会のお申し込みをしておられませんか方は帰りまでお願い致します。

お祝

おめでとうございます!

お誕生日 北砂富三君 (7月20日)

三浦泰之君 (7月20日)

小島健一君 (7月23日)

創業記念日 辻 国明君 (7月20日)

ロータリーを開く鍵

会員増強は、クラブ会員ひとりひとりが等しく分かち合うべき責務であり、会員増強委員会だけの仕事ではない。クラブを発展させたいならロータリーへ新会員を迎えるために各会員が各々の役割を果たさなければならない。カドマン会長は「あなたが鍵です」と述べている。私達の誰もが、誰か新しい人のためにロータリーの扉を開くことができる鍵である。かって私達ひとりひとりのために扉が開かれていたように。このことに目を向けよう。

どのような会員が必要か

ロータリーの成功は、私達がクラブに迎え入れる会員の数によるものでもなく、また会員の職業や社会的地位によるものでもない。ロータリーの成功は、私達がクラブに迎える会員の質にかかっている。とりわけクラブは善意の人々の集まりでなければならない。ある分野でトップに立つ人はロータリーに輝きをそえるかもしれないが、適任者はロータリーに奉仕する人である!

--クラブ会報より

ゲストスピーカー



永野 清治氏

「ロータリアンとは何か」

紹介：本日は私から永野清治さんのご紹介をさせていただきます。大正13年いすゞ

自動車にお入りになられ昭和35年7月車体工業社長に就任されました。45年に会長就任、47年7月相談役に就任され現在に至っておられます。37年3月に大和ロータリークラブを創立され初代会長をつとめられました。

このクラブが出来る時にも大変お骨折り頂いたという事です。いろいろ公職をお持ちですが省略させていただきます。今日は私を含めまして会員ではあるけれどもロータリアンではないという人いろいろ教えていただきロータリアンとは何か？という心構えをしたらよいかと言う事をお教え頂きたいという事でお願いを致しました。（清水）

大和にはじめてロータリークラブが出来ました時にメンバーになりまして、そのうちにだんだんと大きくなり、ロータリークラブの恩恵と申しますかそれとも被害をこうむっているという感じを持っておられる方もあるのではないかと思います、私つねづね "どうも相済みません、"とっている訳であります。清水さんのご紹介では、大変立派な事を話す様な事を言われましたが、実はこんなに長いことやっておりますと逆にロータリークラブの事が解らないのです。と言いますのは、その時々役職につくといろいろ勉強を致しますが、こう長くやっておりますと20何年前に勉強した事だけでありますのでとても皆さんに太刀打ちが出来ません。

ロータリーにつきましてはこちらこそ本当の初歩的存在であるという様に思います。しかしお話をする以上何か考えなければいけないと思ひ考えて

みましたが、そう為になるお話は出来ないと思いますが、ロータリアンという事についての私の考え方というようなものを雑談でござりますが暫らくお聞き願おうかと思ひます。少々横道にもそれるかと思ひますがお許しいただきお聞きのがし願ひたいと思ひ次第です。

ロータリアンの概念は、ロータリーの証認を得て会員になり会費を収めて会合に出てくれば一応の形式は整っているわけです。しかしロータリアンに負わされた任務はそう簡単ではないと思ひます。そこで私は ロータリアンとは社会の人々に魅力あるロータリー奉仕集団を作りあげる人々だと思ひます。しかし実際我々がそうつとめているかと言うと内心じゅくじたるものがあるわけです。

そこでロータリーの友6月号にガバナーの座談会の記事がありましたので読んでみました。

- 1.地域社会に根を下ろし正当に認識され評価されているか。（評価されていないではないかということだと思ひます）
- 2.時代の変化に即応してロータリーを若返らせているか。（ガバナーが皆さんをながめていて時代の変化に即応したロータリーをつくり上げていないというお話だと思ひます）
- 3.ロータリーは組織だけが大きくなり複雑になった。人が組織を動かしているのか、組織が人を動かしているのか どうも解らない。
名前だけのロータリアンが非常に多い。（これも本当のロータリアンになっていないというお叱りではないかと思ひます）
- 4.会議が多く、ロータリーの知識を授けることばかりでロータリー博士が生まれる。（会議・行事が多くて本当のロータリーの行動をしているかどうか。していないではないかというお話だと思ひます）

以上4項目は1人の人がしておられますが別の人は、5.21世紀ではロータリーのない国との交渉も考えなければいけない。（これはロシアのような共

産国ともロータリーを広めていかなければいけないのではないかというお話)

以上を総体に考えますと、だいたいに於いてロータリアンはもっと精を出してやってもらわなければいけないというお話だと思います。

然し、よく考えますとなかなか出来るものではありませんが、ガバナーとか上の方の人の立場に立ってみるとロータリアンにそういう事をやってもらいたいという心持が解らない訳でもありません。ロータリーの進行状況が思惑通り行っていないというお叱りですが、それにはいろいろな原因があると思います。その中で私が一つの理屈として考えられるのは、ロータリークラブがその社会、例えば日本に於きまして、日本の人々の選好と申しますか、国のニーズというものにマッチしているかどうかということです。

結局はその国、或はその社会の人々のニーズにマッチして活動しなければロータリークラブの行動というものはカラ廻りしてしまうのではないかと思います。カラ廻りしない為に、その国々の社会のニーズを知って行動しなければいけないと思うのです。

こういう話があります前に本を読んでおまして世の中とはこういうものではないだろうかと言う事を考えておまして、本を読んだ方が先で考えをまとめたのは後ですので、ご承知おき下さいまして本の宣伝のようになるかと思いますがお聞き願いたいと思います。

先ずアメリカの社会の事をお話するのですが、これは私がアメリカへ行った訳ではありませんし、特にアメリカのロータリークラブがどういふものであるかという事を研究に行った訳でもありませんので、見て来たような嘘を言う訳です。これが本当なのかどうか皆さん方が研究されて各々対処されたい。これはほんの火つけの役をするというように思っただけならば幸いです。

アメリカのボイスという雑誌(ナショナルグルー

プが支援して出している)9月号に竹中征夫さんという方が論文を書いておられます。これはカリフォルニアのことを詳細に書いてありますが、事業を始める事になるとどうしてもアメリカ社会のコミュニティー ボランティア活動が盛んで、これに参加する事が仕事をする上での絶対必要条件である。ですからこういう社会状態であればロータリークラブは必ず成長するし、社会に密着する訳です。日本は遺憾ながらそういう状態ではない訳です。

ネットワークングという本には、アメリカというのは自分達の力で自分達の自治でいろいろな事を成しとげて行こうという考えであり、ロータリーとかその他のボランティア活動というようなものと趣を同じにしているわけです。

フリードマンの「政府からの自由」という本を西山千明氏(元大和RC会員)が翻訳したり序文を書いている本ですが、この本の中で政府がやる事はだいたいよくない。例えば補助金も政府に任せとくと妙な風になって十分な目的をかなえられないばかりか悪用される。最低賃金制を作ると働こうにも働けなくなってしまうような人が出来る。以上アメリカの精神というのは「天は自ら助くるものを助く」という土台がありますので、ロータリークラブがその中で育成されていく土台があるのだと思います。これは私が本を読んだ結果考える事ですが……。日本のガバナーさん達ももっと社会に密着した……という様な考えを持たれるのは、アメリカの社会を参考になさって考えられたことであり、日本とはちょっと違うと思う訳です。ロータリークラブはアメリカで発生し、アメリカのニーズに従って生まれたものである所以アメリカでは重要視されるし魅力も大いにある。社会状態がそうしているのだと思います。

それでは日本の社会はどのような選好を持っているか。これはアメリカとは違う。そうするとロータリークラブに対しても奉仕ということではなし

に、もっと他のことで出発しなければいけないのではないかと思うわけです。

私達がロータリークラブに入った最初は、自分達を鍛錬する修業の場であるというつもりでありました。今もそういう風に考えている人が多分にあると思うのです。それは日本というのは個々の人間の修業というものが日本のニーズである。というものが有りますので日本とロータリークラブの関係を考えてみると、アメリカとは違った状態があるのではないかと思う訳です。そういう日本人がどういう選好を持っているかという事について山本七平という人の書いた「日本の革命の哲学」という本があり、その副題が「日本人を動かす原理」とあります。もし山本さんのおっしゃる事が本当であれば、それをとり入れたロータリークラブであれば、日本のロータリークラブとして発展的で皆さんに魅力を感じさせるものではないだろうかと思えます。この本の内容は貞永式目という北条泰時が作りあげた民法です。それまで日本には成文法はなく、北条泰時の作ったものが明治5年まで640年これを守る事によって世の中の考えがまとまってきたわけです。この式目の基幹は自然的秩序であり自然的秩序通り生活していれば法は不要である。と言うのでこの頃書かれたもので

「従者主に忠をいたし、子親の孝あり、妻夫に従えば人の心曲れるを捨て、直しきをば賞しておのずから士民安堵する」という普通の事が基本であり、自然の秩序というものから生まれた考えであります。

北条泰時という人は京都に4年ばかり行っており帰ってきて将軍家のあとを継ぐという時に自分の譲り受ける領地を殆ど弟達へあげてしまい、北条政子が心配して、あげては困るのではないかと云った時に、欲というものがいけないのである。と言った様な人でした。その人が作った貞永式目というものでありますから、自然の秩序に従った己を磨く考え方。これが日本人の根底にあると思

ます。まだ説明が不足でありますのでよくお解りにならないかと思いますが一度、山本七平という人の本をお読みにになると良くお解りになると思えます。

もう一つ、この本の中に惣領の話があります。日本では惣領というのが家督を継ぐという事になっていまして、今は惣領というのが長男だと思っています。ところが長男が惣領ではないのです。長男が必ずしも家督を継ぐということではないのです。皆んなの兄弟の中で一番ちゃんとした奴を惣領というのであり、ただ単に生まれた状態で家を継ぐということではなくて、よく出来た人、要するに修業を積んだ人が惣領として財産を受け継ぐ。武家ならば武家の本領を受け継いでいくということなのです。

ですから要するにそういう秩序の中で己を磨くという事が、これが日本人の勉強の大もとである訳です。で、ロータリークラブを我々の修業の場であると考えたのも、我々のそういう生活の中から生まれてきた考えであって、我々はそれを伸ばすことによってロータリークラブというのは活動の神髄というものが固まってくるのではないかと思うわけです。

これはアメリカと日本は違った選好というものがあるわけです。この様に日本とアメリカとは違う。又、ヨーロッパともだいぶ違います。ヨーロッパは非常に気候が悪く、土地がやせていて、広いです。すなわち柵がある訳ではありませんので無防備であり、いつでも征服されたり征服したりの繰り返しでお互いに疑惑を持っており信頼しないで、相手に任せず、自分が悪いとは言わず議論したり、いつでもトンガらがって生きて来たという傾向があるわけです。人間中心のデモクラシーが行き過ぎ個人の権利が不当に評価されている。それまで支配していた宗教権、王権に逆らって個人の権利が主張されたそうです。

「日本の知恵・ヨーロッパの知恵」という松原久

子さんという人の書いた大変面白い本があります。これには面白い事が沢山書いてありますが、日本は西洋に遅れていたというけれども違う。

都市生活も日本の方が早かった。だから日本人は練れている状態なのでお互いに都市生活がうまくいくが、ヨーロッパではそうはいかない。各人がトンガらがっているのと和らぎが必要でありEC欧州協同体活動もその表われである。

だから、和らぎ、親睦をモットーとしたロータリークラブが進行するのではないかと思う訳です。最後にロシアについてですが、次の世紀にはロシアあたりにもロータリーをと言うガバナーのご意見がありました、「ロシア」という昨年の暮にアメリカの人が書いた上下二冊から成る本があるのですが、とてもロータリークラブが入っているような状態ではありません。今のゴルバチョフなんていう人がそう簡単に型の生活にとけ込めるかという、ロシアというのはそんなものではないという気がします。

これも皆さんよくお読みになって下さい。

何か本の広告みたいな事ばかりでしたが、そういうものがあり各々国によって違う。

だからロータリークラブの方向というものもそれらに従っていかなければ空廻りするのではないかと思うのです。

結びとしまして、ロータリアンは自分の属する社会のニーズをわきまえて考え、行動しなければ自分の意欲も沸かないし、その社会からも魅力的に扱われないと思います。

大変つまらない話になってしまいどうも失礼致しました。

会長：どうもありがとうございました。

それぞれの国の土壌によってロータリーが成り立っているのだという大変視野の広い有意義なご示唆をありがとうございました。

ちなみに大和ロータリークラブは1151回の例会をお持ちになったわけであります。この重みは素

晴らしいものであると思います。

どうもありがとうございました。

〈スマイルボックス〉 委員長 古川 巖君
中山義之君、菅沼辰雄君（横浜南）

本日は地区大会のご案内に参上致しました。
どうぞ宜しく……。

小菅 徹君（藤沢北西） お世話になります。

町田 実君（大和） 大変立派なクラブに成長され嬉しく思っています。上田先生の名会長ぶりを拝見させていただきます。

野口栄三郎君（大和） お暑うございます。本日も宜しく……。

関沢忠雄君（大和田園） 久しぶりにお邪魔致します。宜しく願い致します。

仁藤文次郎君（大和田園） お世話様になります。

古木明夫君（大和田園） 本日もお世話になります。

上田利久君 ①大和ロータリークラブ初代会長永野清治様お暑いところ私達のために卓話をいただけますことを感謝いたします。

②クラブ奉仕・広報・ロータリー情報それぞれの委員長の皆さん地区セミナーでの討議ご苦労様でした。

清水洋三君 永野大先輩に卓話をいただくことが出来、光栄です。

原田 穆君 大先輩の永野様の卓話に感謝します。マイルします。益々の御健勝をお祈り致します。

伊藤英夫君 先日の第1回ゲートボール大会（参加チーム56）で4位に入賞しましたので!! 但し私は監督です。

渡辺吉三郎君 宜しく……

高橋政勝君 本日は急用のため早退させていただきます。